

【別紙様式】

## 平成28年度 津山市立（佐良山）小学校

### 改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（年度末）

<b>津山市 達成目標</b>	<p>これまでの取組やたしかめテスト等から</p> <p style="text-align: center;">【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み</p>	<p>算数・数学A B・・・算数Aについては、ほぼ県平均に達しているが、割合の意味の理解とその応用、分数の計算や割り算の習熟は課題である。考え方を言葉で順序よく説明することも、継続して課題である。</p> <p>国語A B・・・国語Aについては、ほぼ県平均に達している。B問題では、文を一読して内容をつかむこと、条件に合わせて文章を書くことがさらに課題である。</p>	
	<b>学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）</b>	<b>進捗状況</b>	<b>来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）</b>
<b>市全体の取組</b>	問題データベースを活用し、学年末のまとめとして、各学年での学習内容の定着をはかった。また、各学年に応じたA問題への取り組みは、朝学習や補充学習の中で継続した。6年生では、補充学習や学習のまとめの時間で算数・国語の活用問題にも取り組んだ。	B	問題データベースを活用し、各学年に応じたA問題への取り組みは継続していく。割り算や割合の問題等、課題としている内容には、繰り返し取り組む。
①	学力定着確かめテストの結果を考察して、課題となる問題については、2月の算数レビュー週間や朝学習で取り組んだ。学年末に、まとめとして、4・5年生で算数・国語A Bの類似問題に取り組み、課題としている文を読み取る力について現状を把握する。	B	4月の初めに校内学力テストを実施し、前学年での学習の定着状況、課題をつかみ、6月の算数レビュー週間や朝学習で取り組む。また、朝学習の中に国語の読み取り問題に取り組む日を新たに設ける。
②	自主学習ノートについては、月1回のNO. 1表彰の際に、ノートを映像で映しモデルとして提示するとともに、賞状の文面でよさを児童に伝え、意欲の喚起をはかった。ノーメディア週間の取組にあわせて家庭学習（学年×10分+10分）の定着に向けて働きかけをし、時間調査を実施した。2月には、達成率70%を越える学級が多くあったが、高学年で低い傾向になるという課題がある。	B	年度初めに家庭学習の手引きを配布するとともに、4月の参観日に自主学習ノートの取り組みや家庭学習の充実について家庭に協力の依頼をし、学習時間達成率80%をめざす。 自主学習NO. 1の取り組みは継続するとともに、学校全体で家庭学習100%提出強化週間を設け、全校での取り組みを進める。
③	児童の自己肯定感やよりよい人間関係を築くことを意図して、縦割り班活動を掃除や遊び、集会活動に継続して取り組んだ。儀式や集会活動で静かに聞くこと、チャイム授業スタートやくつそろえに全校で取り組み、ほぼ落ち着いた校内学習環境ができてきている。	A	年度末に次年度の縦割り班を編成し、4月初めから縦割り掃除等の活動がスタートできるようにする。それにより、6年生のリーダー性を育て、学校全体が早く落ち着いた状態になるようにする。全校で生活や学習のきまりについて徹底し、落ち着いた学習環境を実現させる。

※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」  
「C：目標のある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」

# 平成28年度 津山市立（ ）小・中学校

## 改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（年度末）

津山市 達成目標	これまでの取組やたしかめテスト等から 【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み	算数・数学・・・現状（特に主な課題点を記入すること） 国語AB・・・現状（〃） <b>この記入を忘れずに！</b>
	学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）	進捗状況 3学期及び来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）
取組 例	①「問題データベース」を活用し、課題のあった類似問題を取り上げ、学年一斉の実施日を設定して取組む。 ②朝学習や家庭学習を活用して、既習事項の復習を行う。 ③直しを徹底することで基礎学力の定着をはかる。 ⑤「家庭学習カレンダー」を毎日記入させ、家庭学習の習慣づけを図る。	B ○活用問題は、全員が問題データベースを使用し類似問題を解く（100%） ○「家庭学習カレンダー」を実態に合わせ、毎日提出。（90%以上） ○家庭学習が定着しにくい児童には、放課後等で個別指導。（3学期） ○授業の中で、キーワードや条件を入れてまとめたり、自分の考えを書いたりする場面を多く設定する。
市全体の取組	「問題データベース」を活用し、A問題の課題のあった類似問題を取り上げ、朝学習又は、放課後、授業中に位置づけて全校一斉で取組む週間を第2・4と決め設定する。 など	○問題データベースを活用し、A問題の課題のあった類似問題を取り上げ、朝学習又は、放課後、授業中に位置づけて全校一斉で取組む週間を第2・4と決め設定する。 また、活用問題については更なる
①	<p>※市全体の取組では<u>問題データベースを活用した各校の具体的な取組</u>を記入する。                  ※特にこの2ヶ月、<u>年度末の1ヶ月</u>と、<u>年度初めの1ヶ月</u>を意識した具体的な取組みを！</p>	
②		
③		

※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」  
 「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」